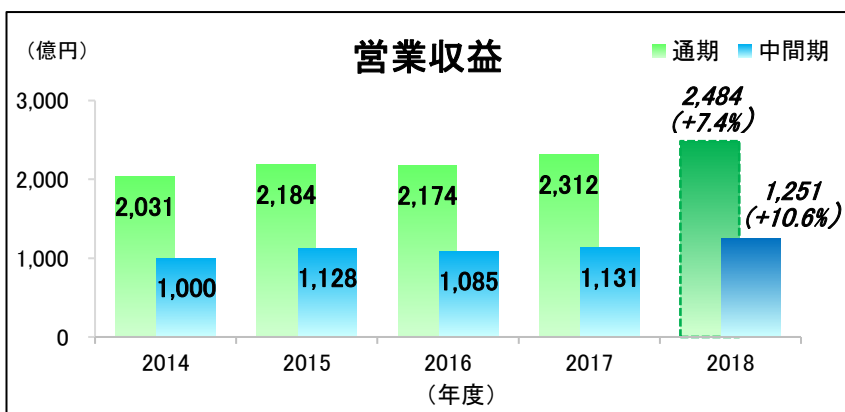


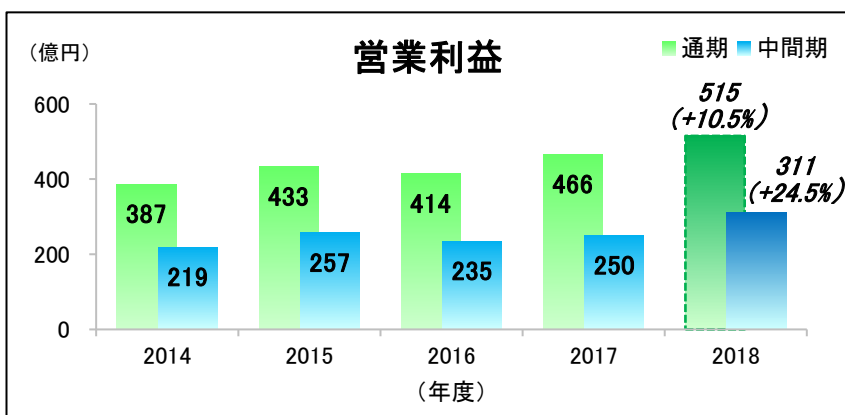
参考

(注)決算数字は、単位未満を切り捨てて表示しています。

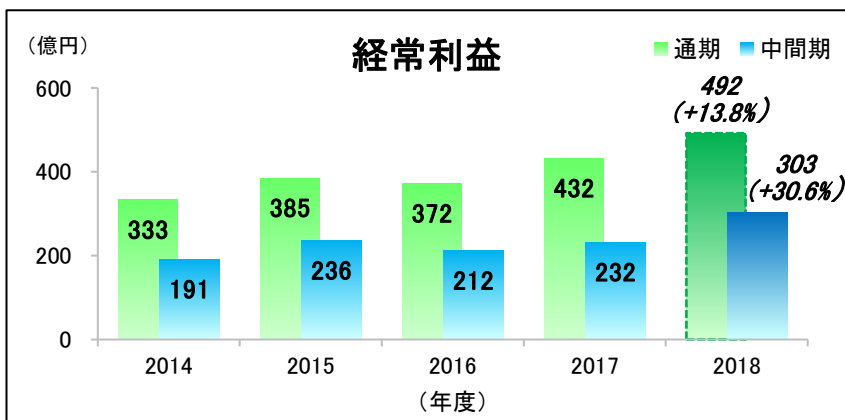
【連結決算推移】 ※括弧は前年同期比(前期比)。2018年度通期は予想



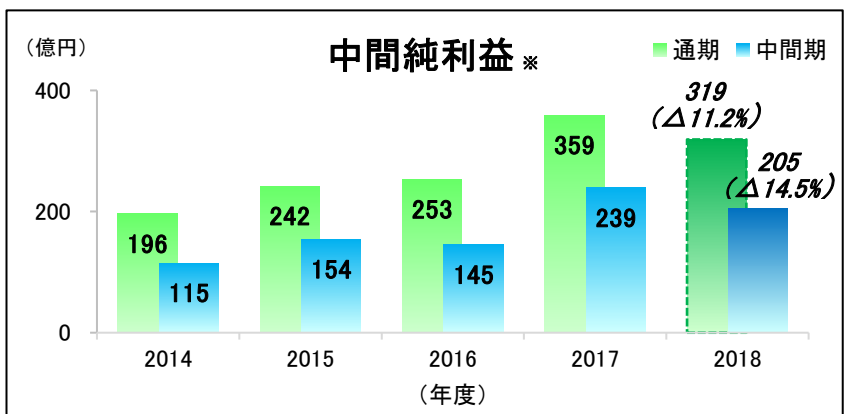
- <2018年度中間期>
 - ・2期連続で民営化以降の最高を更新
- <2018年度通期予想>
 - ・2期連続で民営化以降の最高を更新する見通し
- [これまでの民営化以降最高]
 - ・2017年度 2,312億円



- <2018年度中間期>
 - ・13期(2005年度)ぶりで民営化以降の最高を更新
- <2018年度通期予想>
 - ・2期連続で民営化以降の最高を更新する見通し
- [これまでの民営化以降最高]
 - ・2017年度 466億円



- <2018年度中間期>
 - ・3期ぶりで民営化以降の最高を更新
- <2018年度通期予想>
 - ・2期連続で民営化以降の最高を更新する見通し
- [これまでの民営化以降最高]
 - ・2017年度 432億円



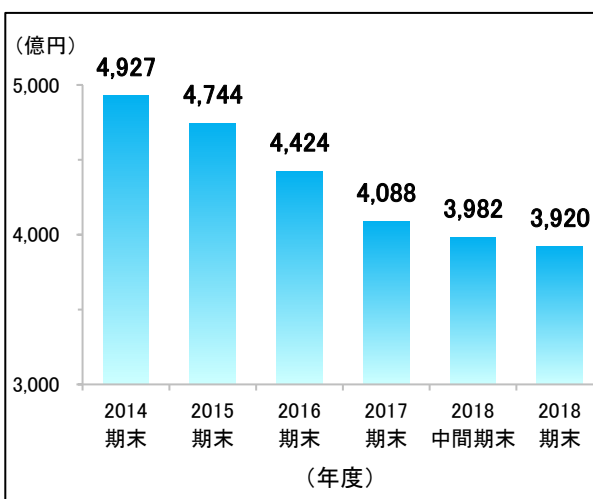
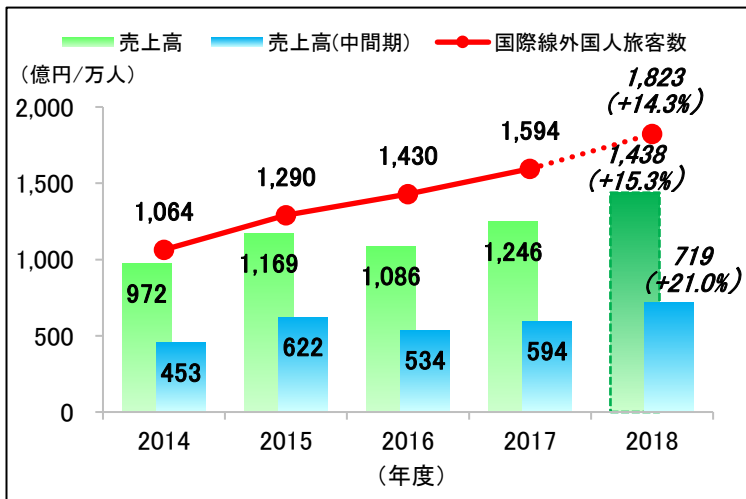
- <2018年度中間期>
 - ・2期ぶりの減益
 - ・厚生年金基金の代行返上益を除いた2017年度比では増益(民営化以降の最高の水準)
- <2018年度通期予想>
 - ・4期ぶりの減益となる見通し
 - ・厚生年金基金の代行返上益を除いた2017年度比では増益となる見通し(民営化以降の最高の水準)

- [これまでの民営化以降最高]
 - ・2017年度 359億円

※親会社株主に帰属する中間純利益

【空港内免税店・物販店・飲食店売上高推移】

【連結長期債務残高の推移】

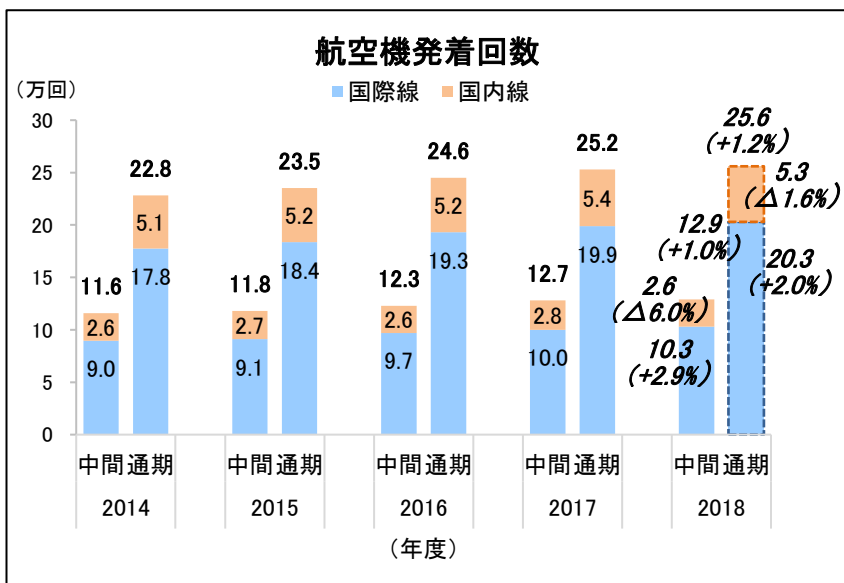


【空港内免税店・物販店・飲食店売上高推移】 ※括弧は前年同期比(前期比)。2018年度通期は予想

<2018年度通期予想> ・2期連続増加 ・民営化以降の最高を更新の見通し

[これまでの民営化以降過去最高] ・2017年度 1,246億円

【航空取扱量推移】 ※括弧は前年同期比(前期比)。2018年度通期は見通し



<2018年度中間期>

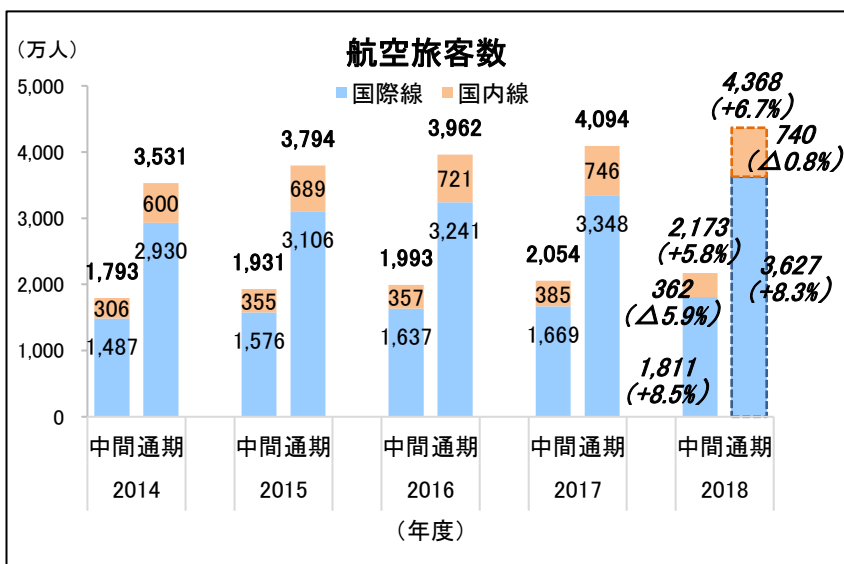
- ・全体: 7期連続で開港以来最高値を更新
- ・国際線: 4期連続で開港以来最高値を更新

<2018年度通期見通し>

- ・全体: 開港以来最高値を更新の見通し
- ・国際線: 開港以来最高値を更新の見通し

[これまでの過去最高値]

- ・全体: 2017年度 25.2万回
- ・国際線: 2017年度 19.9万回
- ・国内線: 2017年度 5.4万回



<2018年度中間期>

- ・全体: 4期連続で開港以来最高値を更新
- ・国際線: 開港以来最高値を更新

<2018年度通期見通し>

- ・全体: 開港以来最高値を更新の見通し
- ・国際線: 開港以来最高値を更新の見通し

[これまでの過去最高値]

- ・全体: 2017年度 4,094万人
- ・国際線: 2006年度 3,419万人
- ・国内線: 2017年度 746万人